

# お子さんやお孫さんに ワクチンを勧める前に

3月から12歳未満の子どもの接種が始まるかもしれない。わが子や孫に接種を勧めるのか。その判断材料となる資料やデータは全て厚生労働省のホームページに載っている。しかしその正確な情報を知らない人は意外に多い。ここでは厚労省のホームページから、接種前に最低知っておきたい最新情報をピックアップして、今一度、未成年者の接種について考えてみたい。

# 厚労省ホームページから「未成年接種」を考える

**未成年者のワクチン接種後  
重篤者387人・後遺症8人・死亡者5人**

「未成年者(0歳~20歳未満)がコロナワクチンを接種するメリットは向かう。厚労省の資料(図①)によれば、未成年者のコロナ感染死はこれまで4人いるが、その内の3人は元々重度の基礎疾患があったことが分かっている。そして一人は「コロナ感染ではなく事故死亡」であり、その後のPCR検査で陽性反応が出たために「コロナ感染死」扱いられたものだ(東京警察発表)。つまり、**これまで未成年者はたまたま健康なまま感染死した人はいないし、重症化もほとんどない**。

「このままオミクロン株をそのまま接種すれば、新たな変異株が出たときに、健康な未成年者にワクチン接種は必要でしょうか?」  
10歳未満 0人  
10歳 4人  
10歳以上 27人  
20歳未満 85人  
20歳以上 294人  
30歳未満 1638人  
30歳以上 836人  
40歳未満 60人  
40歳以上 294人  
50歳未満 60人  
50歳以上 294人  
60歳未満 60人  
60歳以上 294人  
70歳未満 60人  
70歳以上 294人  
80歳未満 60人  
80歳以上 294人

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。

**ワクチン接種と1400人超の死亡は  
本当に関係ない?**

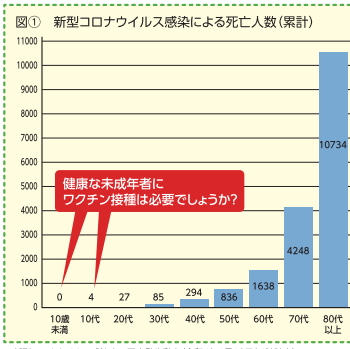
「未成年者にとって有害なもの、大人にとっても有害な可能性のある事実、コロナワクチン接種後の死者の中で、医者がワクチンの影響を疑って厚労省に報告した事例が、1月14日時点で144人(ファイザー製37人、モデルナ製66人、アストラゼネカ製11人)に達している。しかしワクチン接種後に突然死亡した場合は、厚労省は一応して因果関係を認めない。つまり、厚労省のホームページに明記されている通り、**接種の原因をめぐり、ワクチン接種と関係ない**。」

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。」

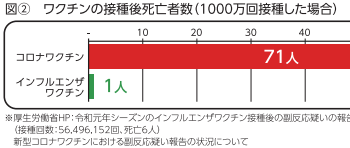
「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。」

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。」

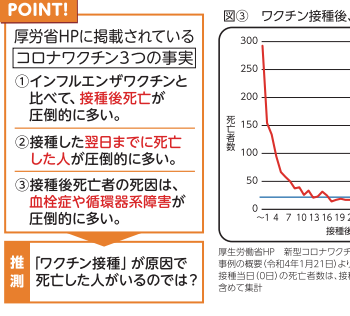
「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。」



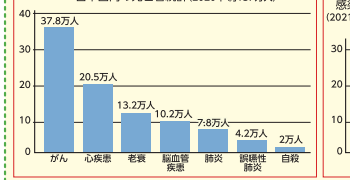
※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(令和4年1月18日24時時点)



※厚生労働省HP:令和元年シーズのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑いの報告について(接種回数:56,496,152回。死亡者6人) 新型コロナウイルスに対する副反応疑い報告の状況について(ファイザー・モデルナ・アストラゼネカ併用接種回数:200,847,188回。死者1438人/令和4年2月2日時点)



※厚生労働省HP:新型コロナウイルス感染症の死亡として報告された事例の概要(令和4年1月21日)および併用接種当日(0日)の死亡者数。接種後の経過時間が短い1日に占める割合



※厚生労働省HP:死因別死別別にみた性別別死亡数より作成

「この状況を招いた最大の要因は、国が自治体に対して適切な周知のために種々努力を怠ったことだ。ワクチン接種の準備ができていない自治体は、悪いやり方(親孝行ワクチン)をやるべきだ。この接種推進CMによって、たまたま自身に必要なくても、子どもや若者に「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。」

※ここでの内容は、主に厚労省ホームページに掲載されている情報や新聞各社で報道された情報を基にしています。

## 本当に必要 ですか? 子どもへのワクチン

(賛同団体) 岡山・倉敷新型コロナウイルス感染症対策市民審議会

「簡単!10分で分かる  
新型コロナウイルスの危険性」  
井上正康先生講演会動画

おすすめ最新書籍  
(参考文獻)  
まんがで分かりやすく解説!  
【フォーマニズ宣言SPECIAL  
コロナ論4】(扶桑社)  
著者:小林 よしのり  
(2021年11月18日)

ここでは、ワクチンの「危険性」の一部を紹介しました。掲載できなかった、その他の詳しい情報は、下記ホームページをご覧ください。

皆様からのご支援で活動しております。  
累計寄付金額 101,809,392円(1月24日8時20分時点)

右QRコードからもご購入頂けます。▶  
<https://jccovid.net/>

ゆうネット 意見広告 検索

メールまたは上記QRコードよりご意見・ご感想をお寄せください  
メール [mail@dbank.jp](mailto:mail@dbank.jp)

株式会社ゆうネット  
新型コロナウイルス関連情報発信センター  
代表取締役 堤 猛 (ご意見はメールよりお願いします。)  
福岡県福岡市中央区天神4-1-17 2F TEL 092-235-2470